熊谷市
記者クラブ取材情報

令和3年2月25日発表
担当課：秘書課

タイトル
令和3年度熊谷市表彰条例に基づく表彰等について

1．日時　令和３年４月３日（土）

2．場所　未定

3．事業概要

熊谷市表彰条例に基づき、４月３日を期日として、次の５名の方々を表彰申し上げるはこびとなりました。これは、本市の文化の興隆、福祉の増進、産業の発展又は自治の振興に貢献された方々を表彰するもので、本市で最も権威のあるものです。

・文化功労表彰　来間　平八　　氏
・福祉功労表彰　坂田　光毅　　氏
・産業功労表彰　本塚　雄一郎　氏
・自治功労表彰　新井　正夫　　氏
・自治功労表彰　松本　富男　　氏

（功績は別紙参照）

また、併せて、熊谷市表彰規則により、市政に功労のあった１１０名の方々を表彰するとともに、熊谷市職員表彰規程により５９名の職員を表彰します。

4．特徴やPRポイント

5．その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、表彰式の開催方法については、今後、時機を見て、適切に判断し、改めてお知らせをさせていただきます。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　風間、右島
連絡先　０４８－５２４－１１１２（秘書課直通）

令和３年度

熊谷市表彰条例に基づく被表彰候補者

○　被表彰候補者一覧

○　被表彰候補者功績調書

令和３年度　表彰条例に基づく被表彰候補者一覧

No	部　門	氏　　名	性別	住　　所	年　齢	職　　名	担　当　課
1	文　化	来間（くるま）　平八（へいはち）　氏	男性	大麻生在住	８７歳	元熊谷市校長会会長	社会教育課
2	福　祉	坂田（さかた）　光毅（こうき）　氏	男性	玉井在住	６６歳	元熊谷地区保護司会会長	生活福祉課
3	産　業	本塚（もとづか）　雄一郎（ゆういちろう）　氏	男性	銀座在住	７０歳	元熊谷商工会議所副会頭	商工業振興課
4	自　治	新井（あらい）　正夫（まさお）　氏	男性	久下在住	８０歳	元熊谷市議会議長	議会事務局
5	自　治	松本（まつもと）　富男（とみお）　氏	男性	榎町在住	７８歳	元熊谷市議会議長	議会事務局

※ 年齢は、令和３年３月３１日現在

文化功労表彰

来間（くるま）　平八（へいはち）　氏（８７歳　熊谷市大麻生在住）

元熊谷市校長会会長
元熊谷市郷土文化会会長
埼玉県文化ともしび賞（平成２１年）
熊谷市文化功労者（熊谷市教育委員会　平成２４年）

― 功　　績 ―

来間平八氏は、昭和３３年４月から３６年の長きにわたり、教育者として終始一貫して職責を強く自覚しながら職務に精励し、この間、公立小中学校の教諭、教頭、校長を務めたほか、熊谷市校長会会長、大里地方校長会会長等の要職を歴任し、本市の教育の向上に尽力されました。

退職後は、熊谷市郷土文化会の副理事長、副会長、会長を歴任されるなど、熊谷の郷土史について深く探求され、平成１４年度からは、長年培われてきた専門的知識及び高い見識により、市立熊谷図書館の美術、郷土資料展示室の各種事業や教育普及事業等に助言、指導を行ったほか、「新編熊谷の歴史」、「熊谷の歴史を彩る史跡・文化財・人物」等の執筆、講演や、「子ども歴史教室」、「熊谷の歴史を学ぶ会」の専任講師活動にも精力的に取り組まれるなど、郷土文化の発信に貢献をされています。

さらに、氏は、観光ボランティアガイドの養成に積極的に取り組まれるとともに、本市教育委員会が主催する熊谷学の講座をはじめ、埼玉県のいきがい大学熊谷学園、同東松山学園の講師を務められ、将来を担う後進の育成や熊谷の魅力発信に大いに尽力されています。こうした氏の姿は、愛する郷土の歴史・文化の普及・継承という志を同じくする者に大きな影響を与えています。

このように、その誠実な人柄と献身的努力により、本市の郷土文化の研究推進、文化の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

福祉功労表彰

坂田（さかた）　光毅（こうき）　氏　（６６歳　熊谷市玉井在住）

元熊谷地区保護司会会長
関東地方更生保護委員会委員長表彰(平成１６年受賞)
法務大臣表彰（平成２４年）
藍綬褒章（平成３０年）

― 功　　績 ―

坂田光毅氏は、平成４年１２月に保護司に就任して以来、２８年の長きにわたり、社会奉仕の精神をもって、熊谷地区の保護司活動に尽力され、本市の更生保護の推進や、地域社会の安心安全及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

この間、氏は、その高潔な人格による深い慈愛と豊富で円熟した見識により、保護司として、罪を犯した人や非行のある少年の立ち直りを助け、親身になって接するとともに、氏の温かい助言や指導を受けた多くの人々を更生に導きました。氏の献身的な活動は、罪を犯した人の再犯を防止し、また、犯罪の予防を推進させ、明るい地域社会づくりに寄与されました。

氏のひたむきな保護司活動と温厚篤実な人柄は、保護司会会員から厚い信任を得て、平成２６年１２月には熊谷地区保護司会の会長に就任され、保護司会の運営はもとより、会の発展のために献身的に尽力されました。令和元年５月に会長を後進に譲られた後も、保護司として精力的に活動され、現在も監事として、その手腕を遺憾なく発揮されています。

さらに、氏の保護司としての豊富な経験と実績は、全ての保護司の模範であり、本市の更生保護及び社会福祉行政のみならず、全国規模においても高く評価されています。

このように、長きにわたる献身的な活動により、本市の市民福祉の向上に寄与された功績は、誠に顕著です。

産業功労表彰

本塚（もとづか）　雄一郎（ゆういちろう）　氏　（７０歳　熊谷市銀座在住）

元熊谷商工会議所副会頭
元熊谷市教育委員会委員
関東経済産業局長表彰（平成２６年）
埼玉労働局長表彰（平成２８年）

― 功　　績 ―

本塚雄一郎氏は、平成６年６月に熊谷商工会議所常議員に就任して以来、地域経済団体の振興・発展に多大な貢献をされました。

この間、氏は、卓越した識見と温厚で誠実な人柄から厚い信頼を得て、平成２２年１１月には、同所副会頭に就任し、厳しい経営環境におかれた地元中小企業を育成するため、会頭を補佐しつつ各種事業を推進し、熊谷市の活性化に大きく貢献されました。

特に、財務を担当する副会頭として同所の財務諸表の個別明確化を図るとともに連結決算の作成に取り組み、財務管理の透明性を推進したほか、小規模事業者経営改善資金審査会審査委員長として、地元中小企業等への適切な融資の実行に努められました。

また、平成２７年度から令和元年度まで実施した新熊谷市誕生１０周年記念事業「熊谷発ビジネスプランコンテスト」では実行委員長に就任するなど、熊谷地域の特性や課題に対し再認識できる機会を作ることで次世代を担う若者の育成及び創業・新規事業の創出を推進されました。

一方、税務分野においては、関東信越税理士会常務理事、関東信越税理士会熊谷支部支部長等の要職を歴任し、多くの経営者から信望を集めるとともに税務行政の推進に尽力されたほか、熊谷市教育委員会委員、熊谷市情報公開・個人情報保護審査会委員等を務め、経済分野以外においても、積極的に提言を行うなど、市政進展に貢献されました。

このように、卓越した行動力とリーダーシップを発揮され、商工業の振興等により、本市の発展に大きく寄与された功績は誠に顕著です。

自治功労表彰

新井（あらい）　正夫（まさお）　氏　（８０歳　熊谷市久下在住）

元熊谷市議会議長
元熊谷市消防団団長
消防庁長官表彰功労章（平成２２年）
瑞宝双光章（消防功労）（令和２年）

― 功　　績 ―

新井正夫氏は、平成１１年５月、地域住民の厚い信望を得て、熊谷市議会議員に初当選され、以来５期２０年の長きにわたり、熊谷市議会議員として地方自治の振興のため献身的な努力と情熱を傾け、本市の発展に大きく貢献されました。

この間、氏は、福祉環境常任委員会委員長、都市建設常任委員会委員長、地方創生調査特別委員会委員長及び２度にわたる議会運営委員会委員長等の要職を歴任し、豊富な経験と卓越した識見を遺憾なく発揮され、広く住民の声を市政に反映させるとともに、多くの課題解決に力を注がれました。

こうした氏の優れた政治手腕と温厚篤実で公平誠実な人柄が多くの信頼を得て、平成２４年には熊谷市議会議長に就任されました。在任中は、優れた指導力で議会内の意見を取りまとめ、議会と執行部との綿密な連携を保ちつつ、効率的かつ円滑な議会運営に尽力されました。

また、熊谷市農業委員会委員、荒川北縁水防事務組合議会議員等多方面にわたり献身的に活動し、市政及び広域行政の充実と発展に貢献されました。

さらに、熊谷市消防団には昭和４１年から４７年間在職され、この間、消防団長及び副団長等を歴任し、地域住民の安全確保と防災意識の向上に多大な貢献をされました。

このように、優れた政治手腕と強い責任感、卓越した指導力、そして、地域の消防・防災に精励された実績により、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

自治功労表彰

松本（まつもと）　富男（とみお）　氏　（７８歳　熊谷市榎町在住）

元熊谷市議会議長
元埼玉県市議会議長会会長
熊谷市文化功労者（熊谷市教育委員会　令和元年）
旭日双光章（地方自治功労）（令和２年）

― 功　　績 ―

松本富男氏は、平成１１年５月、地域住民の厚い信望を得て、熊谷市議会議員に初当選され、以来５期２０年の長きにわたり、熊谷市議会議員として地方自治の振興のため献身的な努力と情熱を傾け、本市の発展に大きく貢献されました。

この間、氏は、都市建設常任委員会委員長、行財政改革特別委員会委員長等の要職を歴任し、豊富な経験と卓越した識見を遺憾なく発揮され、広く住民の声を市政に反映させるとともに、多くの課題解決に力を注がれました。

こうした氏の優れた政治手腕と明朗闊達、豪放磊落で公平誠実な人柄が多くの信頼を得て、平成１９年及び平成３０年の２度にわたり、熊谷市議会議長に就任されました。在任中は、優れた指導力で議会内の意見を取りまとめ、議会と執行部との綿密な連携を保ちつつ、効率的かつ円滑な議会運営に尽力されました。さらに、埼玉県市議会議長会会長、関東市議会議長会支部長の要職を務められ、地方自治の発展に貢献されました。

また、熊谷市監査委員、熊谷市農業委員会委員等、広範にわたり献身的に活動され、市政進展に寄与されました。

一方、熊谷市スポーツ推進審議会会長を長年務められ、スポーツの普及・振興に情熱的に取り組まれたほか、熊谷市総合振興計画審議会委員及び熊谷市都市計画審議会委員として、本市の計画的なまちづくりの推進に尽力されました。

このように、優れた政治手腕と強い責任感、卓越した指導力により、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。